



# 県病医療ニュース

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地 TEL097-546-7111(代表) 内線7407:県病ニュース係  
※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ホームページまたは、1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

## 形成外科

## やけど(熱傷)について

やけどは日常生活で起こりやすい外傷のひとつです。  
やけどについて、深さや手術の適応、初期の処置方法についてご説明します。

### 【やけどを負った時の応急処置方法】

やけどした場合は流水で15～30分程度冷やす。  
流水で冷やしづらい部分はタオルにくるんだ氷嚢などで冷やす(※氷、氷嚢を直接皮膚にあてない)。  
衣服を着ている状態での広範囲のやけどの場合は、衣服の上から冷やす。

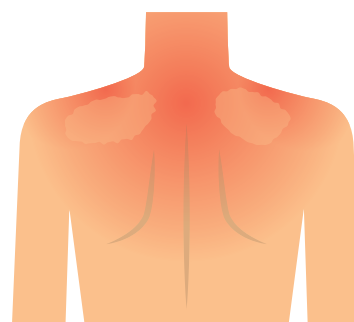


### 【やけどの深さ】

以下の4段階に分類されます。

**I 度:**表皮のみの損傷です。皮膚が赤くなったり、腫れがみられ、ヒリヒリとした痛みがあります。一時的に色素沈着することもあります。数日で自然に治り、やけど跡はほぼ残りません。日焼けなどはこのやけどに含まれます。

**浅達性II 度:**真皮上層までの損傷です。症状として、発赤、水ぶくれがみられます。水ぶくれは破れて痛みます。治った後は色素沈着などがおきますが、だいたい2週間以内にやけど痕があまり残ることなく治癒します。



# 形成外科

## やけど(熱傷)について

**深達性Ⅱ度**:真皮深層までの損傷です。発赤、水ぶくれ、浅い潰瘍などが起きますが、上記やけどより痛みは軽度で、水ぶくれの下の皮膚が白くなります。治癒までには1か月以上かかり、やけど痕が残ります。経過とともに深くなってくる場合は皮膚の移植手術が必要になる可能性があります。

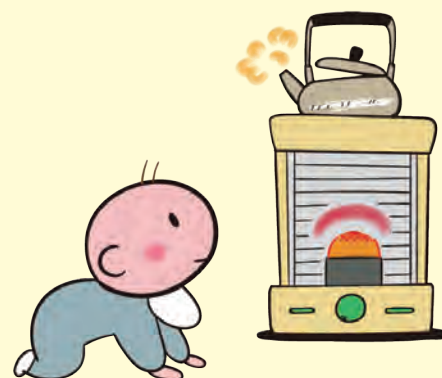


**Ⅲ度**:皮下組織(皮膚の深いところ)までの損傷です。痛みを感じる神経も焼け死んでいるので痛みは感じません。表面は白く乾燥し、ひどいときは焦げています。水ぶくれはできません。やけど跡は盛り上がり、ケロイド状になったりしてはっきりと残ります。皮膚がつっぱったり、機能障害が起ったりする場合があります。皮膚の移植手術を行うことが多いです。



冬場はストーブの上に置いたやかんのお湯でのやけどや、湯たんぽでの深いやけどなどが増えてきます。

Ⅱ度以上のやけどを疑った場合は早めに医療機関を受診することをお勧めします。



(形成外科 主任医師 足立恵理)